

委員会視察の記録

委員会名	自然災害対策特別委員会
月 日	令和4年10月11日(火)
参加者	委員長 落合 慎悟 副委員長 鳥澤 由克 副委員長 勝俣 昇 委員 宮沢 正美 委員 小沼 秀朗 委員 江間 治人 委員 林 芳久仁 委員 沢田 智文 委員 大石 哲司 委員 高田 好浩
視察先	台風15号(9月23日夜~24日未明に本県最接近)による被災現場調査 1 興津川 清水橋崩落現場(静岡市清水区清地) 2 清水谷津浄水場 承元寺取水口(静岡市清水区承元寺町) ※バス車内での説明のみ。 3 巴川流域 浸水現場(静岡市清水区石川新町) 4 国道362号損壊現場(静岡市葵区昼居渡)

視 察 の 概 要

■ 興津川 清水橋崩落現場

〈概要〉

清水橋は、興津川に架かる市道清地1号線の橋梁で、橋長は55.6m、有効幅員は3.2m、径間数は5径間、架設年度は昭和6年度。

9月23~24日の出水により清水橋が流出し、10世帯が孤立した。住民はヘリコプターにより救出されたが、不自由な生活を余儀なくされている。

9月27日に内閣府の星野副大臣が現地を視察、9月28日に早期の橋梁復旧を望む地元の要望に対応するため、橋梁管理者の静岡市に対して、国土交通省が技術支援をすることを決定した。9月29日に静岡市を支援するため、国、橋梁管理者の市、河川管理者の県が協議を行い、仮橋を作るための仮設道路を橋梁下流に設置することを確認した。9月30日に仮設道路の整備開始、10月8日午前8時30分から仮設道路の通行が可能となる。仮橋については、国土交通省中部地方整備局が所有する5つ橋梁の1つを設置することとし、年度内を目途に作業を進めると聞いている。

〈主な質疑応答〉

Q 仮橋を設置する場所はどこになるのか。

A 本来、仮橋は落橋の上流か下流かにずらして設置するが、もともと市の道路計画で、別の場所に橋を架ける計画があるため、今回の仮橋は、もとの橋の位置に架けることになっている。

Q 水の流れが上がっているようだが。

A 一部、上っている箇所がある。上流の和田島の集落で地下水を引っ張り、庵原の方に供給している系統がある。



■ 清水谷津浄水場 承元寺取水口

〈概要〉

承元寺取水口での取水は、旧清水市の市街地を主な給水区域とし、取水量は最大1t/s、県管理の興津川に、静岡市が設置している。

9月23～24日の出水により、大量の流木、土砂等が取水口に詰まり取水が出来なくなり、約58,500戸で断水が発生した。

9月25日午前中に、静岡市、県企業局、県河川管理者が協議。企業局が富士川から取水している工業用水を市に提供することを確認し、その内容を許可権者である国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所に状況を伝え、関東地方整備局長の了解を口頭で得る。9月25日15時から県企業局の工業用水を谷津浄水場へ供給開始、10月3日13時から、承元寺取水口からの取水が可能となったため、工業用水供給は停止した。この間、約7万m³の水を静岡市に供給した。

■ 巴川流域 浸水現場

〈概要〉

今回の浸水被害の状況を静岡市に確認したところ、10月3日時点、市全体で床上1,188戸、床下672戸、計1,860戸(10月7日時点、市全体で床上1,625戸、床下849戸、計2,474戸)、巴川流域では約620戸の浸水被害が確認されている。静岡大学の北川先生の緊急調査では、鳥坂地区で約2mの浸水深があったとの結果も報告されている。

過去の巴川流域における浸水の状況は、七夕豪雨床上11,981戸、床下14,143戸、計26,156戸、平成26年の豪雨では、合計で1,543戸が浸水している。

今回の視察箇所近隣の遊水地は、いずれも静岡市管理施設となるが、東名高速道路北側の押切北調整池、押切南公園南側の押切南遊水地調整池、その南の能島遊水地がある。

〈主な質疑応答〉

- Q 2mの浸水というのは、地形的な理由か。
- A 地形的に周囲に比べて低くなっている場合に、浸水深が深くなる可能性がある。地形的な要因は考えられる。



■ 国道362号損壊現場

〈概要〉

台風15号の豪雨により、藁科川の支川、一級河川黒俣川が増水し、道路との兼用護岸が損壊した。被災延長50m、被災幅員7.0m、全面通行止めとなるが、迂回路があるため孤立集落はなし。NTTの配管が露出した。362号の川根本町側でも損壊があり、大型車通行止めとなっている。現在、応急工事で、ブロックを積み上げている。

〈主な質疑応答〉

- Q あの河川敷に見えるブロックは。
- A おそらく、国交省が持つ応急用のブロックを据えているものと思う。今回の豪雨では、雨量が多く、河川の水位が高くなり、浮力が出て、ブロックが転倒する、前に出てしまう等、一箇所あたりの被害が大きい。

